

1. 科目名 (単位数)	教育学概論 (初等・幼) (2単位)	3. 科目番号	SJMP1105
2. 授業担当教員	後藤 泰博		
4. 授業形態	講義、演習 (グループワーク含む)	5. 開講学期	春期/秋期
6 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>本科目は教育という営みに深い関心を持ち、「教育とは何か」ということを考え始めている人に対し、教育(学)の基本的な概念と基礎理論について概括することを通して、受講者一人ひとりが、教育(学)の観点から今日の「子ども」を取り巻く環境の変化をふまえた「よりよい保育・教育」のあり方を考える上で求められる基礎的知識の修得を目的とする。具体的には、主に保育士・幼稚園(または小学校教諭)になるための土台となる教育の基本的概念や理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかについて、受講者同士の対話をとおして理解を深めて行く。</p>		
8. 学習目標	<p>本講義は、本科目の目的を達成するために、以下の目標を設定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育のさまざまな側面に触れることで、各自のこれまでの教育概念を揺さぶり、それぞれが教育という営みを再考できるようになること。</li> <li>2. 教育に関する代表的な論考やアプローチから教育の射程の広さを学び、教育理解に関する柔軟さ、そして教育実践における覚悟と責任と寛容さを培えるようになること。</li> <li>3. ディスカッションや発表を通して、一対多という状況の中でも物怖じしない態度を身につけられるようになること。</li> </ol>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>教科書を事前に熟読し、学習内容の予習をしておく。授業内容や感想について適宜、簡単なレポートの提出を求める場合がある。期末課題として1000字程度のレポートを課す。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 『わかる・役立つ教育学入門』植上一希・寺崎里水(編)大月書店2018</p> <p>【参考書】 『絵で読む教育学入門』広岡 義之ミネルヴァ書房2018 『三訂版 資料で考える 子ども・学校・教育』朝倉彦彦・遠藤孝夫・笹原英史・宮崎秀一・本山敬祐 共著 学実図書出版社2022</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育学の基本的概念・教育に関する歴史・思想を理解し、自分の言葉で説明できる力を身につけたか。(知識・理解)</li> <li>2. 教育理解に関する柔軟さ、保育・教育実践に求められる態度・姿勢を身につけることができたか。(関心・意欲・態度)</li> <li>3. 教育学に関する基本的な理論を理解した上で、教育という営みを再考することができるようになり、ディスカッションや発表を通して自分の意見を伝える力を身につけることができたか。(判断力・表現力)</li> </ol> <p>以上の観点をふまえ、下記の1～3によって評価する。</p> <p>○評定の方法</p> <p>【授業への取り組み姿勢、授業内での課題提出、期末レポート等を総合して評価する。】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業への取り組み姿勢 (ディスカッションやグループワークへの積極的参加度) 総合点の30%</li> <li>2. 授業内での課題提出 (小テスト・中間レポート等) 総合点の40%</li> <li>3. 期末課題 総合点の30%</li> </ol>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>一方通行の授業ではなく、受講生自身も発表する機会があるので積極的に参加してください。この講義を通して教育学の基礎を学ぶと同時に、教育への興味・関心を高め、自分なりの教育観を持つことができるようになってください。</p>		
13. オフィスアワー	初回授業時に案内します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 第I部 教育学へのいざない 第1章 教育学が向き合う教育の変化	事前学習	教科書を概観する。「教育についてのイメージ」を考えておく。
		事後学習	話し合って理解したことをまとめる。
第2回	第2章 教育学のイメージを広げる——教育学を学ぶ意味の多様性	事前学習	教科書第2章を読み、「教育を学ぶ意味」「卒業後の職業選択との関連」に関して考えておく。
		事後学習	ノートに理解したことをまとめる。
第3回	第3章 教育学を学ぶためのポイント——専門用語を習得していく	事前学習	教科書第3章を読み、教育学の専門用語について調べておく。
		事後学習	ノートに理解したことをまとめる。
第4回	第II部 教育・教育学の展開 第4章 貧困世帯の子どもと学校	事前学習	教科書第4章を読み、貧困世帯の子供にはどのような困難な課題があるのか考えておく。
		事後学習	ノートに理解したことをまとめる。
第5回	第5章 ともに学ぶ教室——外国につながる子どもたち	事前学習	教科書第5章を読み、日本語指導が必要な子供が学校や日常生活でどのようなことに困っているのか考えておく。
		事後学習	ノートに理解したことをまとめる。
第6回	第6章 「性」について考える——ジェンダーと性の多様性	事前学習	教科書第6章を読み、学校生活で男女の区別について思い出しておく。

		事後学習	ノートに理解したことをまとめる。
第7回	第7章 学校は生徒をどう管理するのか——制服から見えてくるもの	事前学習	教科書第7章を読み、生徒管理と制服の関係について考えておく。
		事後学習	ノートに理解したことをまとめる。
第8回	第8章 「いじめ」という問題	事前学習	教科書第8章を読み、いじめの定義について調べておく。
		事後学習	ノートに理解したことをまとめる。
第9回	第9章 これからの高等教育への進路選択を考える	事前学習	教科書第9章を読み、大学と専門学校の違いと進学について考える。
		事後学習	ノートに理解したことをまとめる。
第10回	第10章 大学の大衆化とユニバーサル化	事前学習	教科書第10章を読み、大学のユニバーサル化について予備知識を持つ。
		事後学習	ノートに理解したことをまとめる。
第11回	第11章 話し合う技術の必要性	事前学習	教科書第11章を読み、良好なコミュニケーションの取り方について考えておく。
		事後学習	ノートに理解したことをまとめる。
第12回	第Ⅲ部 教育・教育学の未来へ 第12章 世界とつながる教育——ICTを活用した教育実践	事前学習	教科書第12章を読み、ICTの活用について考える。
		事後学習	ノートに理解したことをまとめる。
第13回	第13章 地域と学校の連携——中山間地域の高校魅力化と地域人材育成	事前学習	教科書第13章を読み、学校と地域との連携について予備知識を持つ。
		事後学習	ノートに理解したことをまとめる。
第14回	第14章 変わる男女のキャリアデザイン	事前学習	教科書第14章を読み、職業選択について考える。
		事後学習	ノートに理解したことをまとめる。
第15回	第15章 これからの教育と教育学	事前学習	教科書第15章を読み、日本の教育問題について関心を持つ。
		事後学習	ノートに理解したことをまとめる。これまでのノートを見直し、最終レポートの下書きを準備する。